

(3) 商工業の振興

八雲町の商工業については、その大多数が小規模事業者であり、国の「小規模企業振興基本法」の制定を踏まえ、八雲商工会が町内の小規模事業者の支援を核とした計画を策定しつつあります。

町としても八雲商工会の計画と連動した支援を展開するとともに、経営改善普及事業、中小企業育成資金の融資の維持と保証料の助成などを含め、町が果たす中小企業振興策について改めて検討してまいります。

なお、熊石地域で展開しております海洋深層水事業につきましても引き続き企業誘致やPR活動に取り組んでまいります。

(4) 観光・地域物産の振興

これまで展開してまいりました「観光まちづくり」や「地域物産のブランド化」の取り組みも一定程度定着してまいりましたが、今年は北海道新幹線の開業や「噴火湾パノラマパーク」の開園10周年という強い追い風が吹く年でもあります。

町としては、この機会を的確に捉え、観光と物産の振興による経済波及効果の増大に

努めてまいります。

さらに、近年、国内マーケットが縮小する中、外国人観光客の増加も踏まえ、海外市場も広く視野に入れた事業展開も重要であると考えており、今後、関係団体や近隣町とともに連携した取り組みに広げてまいります。

熊石地域では、道南休養村を中心に、昨年オープンした「くまいしパークゴルフ場」を活用し、観光客等の誘致と交流人口の拡大を図り、観光振興に努めてまいります。

(5) 新産業の育成と雇用環境の整備

少子高齢化と人口減少の中、八雲町においても産業の担い手不足が今後、顕著になつて来ることは明らかであります。

昨年からの地方創生総合戦略の策定議論においても、将来の八雲町の産業を担う人材の確保が重要な課題であると打ち出しているところであります。

このため、今年から町内の産業後継者はもとより、町外からも産業後継者を確保し育成するための自立した仕組み作りを目指した取り組みを産業・経済団体と連携して実施

してまいります。

3. 道南北部の中心性をより高めるまちづくり

(1) 土地の有効活用と市街地、集落環境の整備

3・4・2出雲通整備事業については、第二期工事の整備事業を北海道に要請するとともに、3・4・7本町大通整備事業についても早期着手を要請してまいります。

町営住宅の整備・改修については、既存住宅の有効利用として策定した公営住宅等長寿命化計画に沿って、平成28年度は出雲町A団地に2棟10戸を建設してまいります。

また、空家等対策については、空家等対策の推進に関する特別措置法の施行等を踏まえ、地域の実情に応じた対策計画の作成等に向けて準備を進めてまいります。

(2) 道路の整備

国道5号及び277号、各道路の整備促進について、引き続き関係機関への要望を続けてまいります。

国道229号沿線等の高潮・越波対策は、これまで順

調に工事が進められております。引き続き要望箇所の整備について要請活動を続けてまいります。

町道については、八雲総合病院の改築に伴う東雲幹線道路改良事業として、平成28年度は用地測量、建物調査及び補償を行ないます。また、橋梁の長寿命化修繕事業を進めるとともに、町民が安全に生活できるような計画的な道路整備に取り組んでまいります。

(3) 公共交通の充実

路線バスの利便性向上対策は、現行路線の確保に向けた対策を講じるとともに、八雲・熊石両地域の交流促進を図る上で不可欠であることから、将来的な需要と財政負担を勘案した検討を継続してまいります。

道民待望の北海道新幹線が3月26日に開業されます。次は、いよいよ札幌延伸であります。今後も、早期完成に向けた活動および公共交通確保の観点から、並行在来線の存続に向けた検討について、沿線自治体・関係機関と連携しながら取り進めてまいります。

北海道縦貫自動車道八雲パーキングエリアは、隣接する噴火湾パノラマパークと

もにハイウェイオアシスとして一体的に利用できる施設であり、訪れる利用者の利便性の向上と地域活性化を推進するため、スマートインターチェンジ設置に向けて、引き続き調査検討をしてまいります。



(4) 航空基地との連携

航空自衛隊基地は、地域経済への波及のみならず町の振興に大きな影響を与えるとともに、災害時における支援活動など町民生活と密接な関係にあります。

自衛隊基地の有効活用、現部隊の維持と新たな部隊の配置を目指し、また、防衛施設周辺整備事業の拡充等についても要請活動をしてまいります。